

沖縄県立高等学校の学寮費値上げに対する意見書

過日、保護者に配布された沖縄県立八重山商工高等学校学寮入寮募集要項により寮費がこれまでの2万8千円から3万8千円へと月額1万円増額する予定であることが明らかになった。入寮生徒数等や諸事情により変更する旨が記載されているものの、突然の知らせに保護者は驚きと不安をもっている。

寮費値上げの理由は光熱費等の維持管理費を均等割りとしているため、入寮する生徒数が少ないと負担が大きくなる仕組みとなっている。

保護者からは「年毎に寮費が大きく変動するのは困る」「兄弟で入寮となるため負担が大きい」「入寮をあきらめ家族で市街地に引っ越せば、北部地域の人口減につながる」等の声が寄せられている。昨日行われた高校のオリエンテーションにて寮費については「当面は現状維持」との説明がなされたようですが、「今後の入寮する生徒数により、変動が考えられる」ともされている。

沖縄県は給付型奨学金制度で学生を支援する一方で、通学困難な竹富町や与那国町の離島、石垣市北西部の学生世帯へ過重な負担を求める対応を改めるべきである。

よって当市議会は、均等割りによる寮費値上げを行わないよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成30年3月29日

石 垣 市 議 会

あて先 沖縄県知事 沖縄県教育委員会教育長